救　命　処　置

★　救命処置の流れ（心肺蘇生とAEDの使用）

処置項目
観察項目

反応をみる

耳もとで声をかけながら
肩をたたき反応があるかみる

↓

反応なし

大声で叫び応援を呼ぶ
１１９番通報・AED依頼

↓

呼吸をみる → 気道確保
応援・救急隊を待つ
回復体位を考慮する

普段どおりの
呼吸あり

↓

呼吸なし　※

※死戦期呼吸は心停止として扱う

↓

胸骨圧迫
　胸の真ん中を　☆　強く（成人は両手で少なくとも５㎝
　　小児は両手、もしくは片手で胸の厚さの約１／３
　　乳児は指2本で胸の厚さの約１／３）

　☆　速く（少なくとも１００回／分）　☆　絶え間なく（中断を最小にする）

人工呼吸
　☆　人工呼吸ができない、または「ためらわれる」場合は胸骨圧迫のみ続ける

心肺蘇生（胸骨圧迫３０回　＋　人工呼吸２回）を繰り返す

↓

AED装着
　☆電源を入れる
　☆電極パッドを装着する

乳児を含めた未就学児と推測されるときには小児用電極パッドを使用、小児用パッドが無い場合は成人用電気パッドを使用する。

↓

繰り返し　　繰り返し

心電図の解析
電気ショックは必要？必要ない？

必要あり → 電気ショック　１回
その後すぐに胸骨圧迫から再開する※※

必要なし → その後すぐに胸骨圧迫から再開する※※

※※強く、早く、絶え間ない胸骨圧迫を！

救急隊に引き継ぐまで、または傷病者が目を開けたり、
普段通りの呼吸が出現するまで心肺蘇生を続ける